

お花の栽培シリーズ「スターチス」

2010年5月	皐月(さつき)・菖蒲月(あやめづき)・午月(ごげつ)・早苗月(さなえつき)・橘月(たちばなつき)・多草月(たかさつき)・五月雨月(さみだれつき)	●春の花盛りの時期
---------	--	-----------






新芽がいつせいにのびて、瑞々しい空間を楽しめます。草花の成長盛りのこの時期は、生命の神秘を感じるたくさんの発見があるはず。草花たちの成長を毎日見守ってあげましょう。

庭木の作業	・ツツジは花が終わった時期に整枝します。
草花の作業	・春まきの草花の移植、定植。 ・アサガオの種まき。

今月の誕生花	アヤメ・カーネーション・スズラン・ボタン
今月の花	<p>スターチス 花言葉/永久不変、いたづら心、驚き</p>
	<p>日本では、葉の形がサジに似ているので海辺のサジという意味で ハナハマサジと呼ばれています。 「スターチス」という名前は、この花には下痢を止める薬効があるので ギリシャ語の「止める」という語から転訛したものだそうです。</p>  <p>水揚げがよく、花もちにすぐれ、そのままドライフラワーにしてもいいですね。いつまでもきれいなので、プレゼントにしても 贈った人に楽しんでもらえます。</p>
	<p>原産地は世界中に約300種が分布しているが主にヨーロッパ、地中海沿岸。イソマツ科リモニウム属で1年草・宿根草・小低木など形態はさまざま。丈は30～80cm。開花時期は周年。最盛期は4～5月。葉の形状は、根出葉で倒披針形で羽状浅裂か中裂。花持ちは10～14日程度で、花色は赤、ピンク、黄、オレンジ、青、紫、白、緑、複色。英名シー・ラベンダー(Sea lavender)、スターチス(Statice)。別名リモニウム、チース、花浜匙(はなはまさじ)。</p>

お花の栽培シリーズ

今月の花 リーガースベゴニア

<p>日当たり</p>  <p>半日陰</p>	<p>水やり</p>  <p>乾燥ぎみ</p>	<p>気温</p>  <p>20～25℃</p>	<p>草丈</p>  <p>50cm</p>	<p>花色</p> 
--	--	---	---	--

冬の時期にひととき鮮やかな花を咲かせる鉢植えのお花です。  
 ベゴニアは比較的育てやすいのですが、このベゴニアは少し手をかけてやらねばなりません。



ピートモス : 5  
 腐葉土 : 3  
 赤玉土 : 2

たとえば、温度管理・・・。  
 20~25℃が適温で、それ以上になると花もちが悪く、  
 花が小さくなってしまいます。  
 逆に、温度が低すぎると、株が弱って枯れてしまいま  
 す。



お花の時期は、日当たりのよい場所に置きます。  
 日光が足りないと、つぼみが落ちてしまいます。  
 風通しもよくしなければなりません。

### ●切り戻しのやり方



花が終わったら  
 株元から、2~3節の所を  
 切り取る!!

### ●挿し芽のやり方



## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
状況							花期					花期	
置き場所	屋内の日当たりのよい場所		屋外の日当たりのよい場所		屋外の半日陰			屋内の日当たりのよい場所					
水やり	乾燥気味にする(3~4日に1回)		表土が乾いたら与える(1~2日1回)					表土が乾いたら与える(2~3日1回)		乾燥気味にする(3~4日に1回)			
肥料	週1回 薄い液肥を与える						週1回 薄い液肥を与える						
病害虫	ボトリチス病とうどんこ病の予防に 月2回ベンレート1000倍液を散布する												
作業							花茎摘み					花茎摘み	
							切り戻し						
	挿し芽・葉挿し												
											植え替え適期		